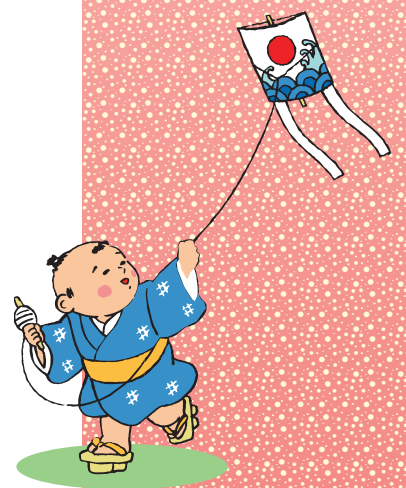




謹賀新年



新春のお慶びを

申し上げます

代表理事組合長 三上道廣

専務理事 大場勉

理事金融共済部長 花田敏幸

総務委員長 成田勝弘

りんご委員長 福島憲一

組織代表農業委員 花田勇人

りんご委員 三上誠

総務委員 田澤俊則

代表監事 清野護

監事 溝江徹

員外監事 盛浩一

他職員一同

次世代を育み組合員と共に築く

豊かな暮らしを実現



相馬村農業協同組合

代表理事組合長 **三上道廣**

新年あけましておめでとうございます。組合員及び地域住民の皆様とともに輝かしい新年を迎えられたことに謹んでご祝詞を申し上げます。また、日頃より農協の各事業におきましては、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて昨年を振り返ってみますと、大規模な補正予算の編成に取組むなど経済再生を最優先した結果、一部で景気浮揚が見られました。が、地方まではいまだ、浸透していない様相を示しています。一方で農業をめぐる情勢については、相次ぐ異常気象と不況、デフレ等で消費者の低価格志向など、農業経済はいまだ厳しい状況にある中、TPP交渉では非常に厳しい立場にあり、今後の農業情勢の先行きは不透明なものとなっています。

このような中、当農協の主力作物であるりんごについては、2年続きの豪雪に見舞われ、枝折れや春先の低温による開花遅れに伴う小玉傾向や着果量不足、また、9月の台風18号による水害や園地崩落被害、11月の低気圧による収穫前の落果被害など様々な自然災害に見舞われました。このような中、25年産りんご入庫数量は生果678,047箱（契約対比105.6%、前年対比86.8%）となり23年産に次ぐ減収となりました。

品種構成を見ますと、早生種のつがるが前年をやや上回ったものの、その後の各品種とも前年割れとなり黄色品種やジヨナゴールド、

サンふじの入庫量が著しく減少傾向となりました。

販売については、早生種のつがるが前年を下回りましたが、中生種の早生ふじや前年苦戦を強いられた黄色品種のトキなど前年より高値販売することができました。年明け以降は23年産のような高値販売に期待するわけですが、本年4月より消費税率が8%へと引き上げられるために消費形態は先行き不透明となっており、主力のサンふじを中心にキャンペーン等による消費拡大を図り、高値販売に取組んでまいります。

これからは、昨年度総会で承認いただいた「経営・振興三ヶ年計画」及び標題の早期目標達成に向けて役員一丸となって取組んでまいります。また、昨年度より弘前市の協力を得て実施している冬期間の農道除雪についても、今後も継続してまいります。

さて、本年10月1日をもって農協合併50年の節目を迎えることができることは、先人達の苦勞と努力、そして組合員一人ひとりの農協に対する結集の成果はもとより、不屈の精神に改めて敬意を表します。各種イベントや売出し、記念商品の発売等も行っており、ですので、ぜひご利用下さるようお願いいたします。

本年も大きな災害の無いことと、組合員及び地域住民の皆様が健やかで笑顔に暮せることを願い新年のあいさつといたします。